

主な記事

2~3面 令和元年12月定例会の概要
4面 議会活動の紹介
県議会からのお知らせ

わかやま 県議会だより

WAKAYAMA PREFECTURAL ASSEMBLY

クイズ&プレゼント

正解者の中から抽選で
「図書カード」を10名様にプレゼント!!

和歌山県議会初代議長でもある濱口梧陵翁。令和2年は生誕○○○年にあたります。

「○○○」に入るのは何でしょう。

ヒント: 2~3面を読んでね!!

応募方法: 4面をご覧ください。



福祉環境委員会

福祉環境委員会では、令和元年10月9日に県内調査を行いました。まず、県立医科大学内に設置されている県地域医療支援センター(和歌山市)を訪問し、第5世代移動通信システムを活用した遠隔医療実証実験やスマートフォンアプリを活用した遠隔救急支援システムなど地域医療の発展に向けた取組や本県の医療の実態についての説明を受け、その後、本県地域医療の充実等について意見交換を行いました。次に、令和元年7月27日にオープンした南紀熊野ジオパークセンター(串本町)を訪問し、紀伊半島の大型立体模型に火山の噴火など迫力ある映像を投影するプロジェクトシモンマッピング、大地の動き方を再現する体験装置などにより、南紀熊野の大地の成り立ちについて説明を受けました。また、橋杭岩や虫喰岩などのジオサイトを見学し、その地域資源をどう活用して地域社会の発展に結びつけるか等について意見交換を行いました。福祉環境委員会では、今後とも、全ての県民が健康で活気のある暮らしができるよう取り組んでいきます。



和歌山県地域医療支援センター



ジオサイト(虫喰岩)

常任委員会

活動リポート

6つの常任委員会のうち、
前号に引き続き3つの委員会の
活動を紹介します。

農林水産委員会

農林水産委員会では、令和元年11月22日に、県の研究機関である果樹試験場(有田川町)、林業試験場(上富田町)、水産試験場(串本町)の3カ所において県内調査を行いました。

各々の試験研究機関において、沿革、組織、職員体制、試験研究の概要等について説明を受けました。

また、最近の研究成果として、果樹試験場では、カンキツ新品種「はるき」の育成、林業試験場では、未利用広葉樹・シイの建築資材等への利用拡大のための技術開発、水産試験場では、スマの種苗生産技術の開発及び黒潮の大蛇行によるカツオ漁への影響について、それぞれ担当者から説明を受け、意見交換を行った後、研究現場を視察しました。

農林水産委員会では、今後とも、所得の安定化や担い手の確保等をはじめ、本県の基幹産業である農林水産業の一層の振興と発展のため取り組んでいきます。



果樹試験場



水産試験場

文教委員会

文教委員会では、令和元年10月24日、25日に県内調査を行いました。

まず、「英語教育」について田辺市教育委員会の研究指定を受けている田辺市立新庄小学校を訪問しました。研究テーマの「外国語科の効果的な指導の工夫」について課題や成果の説明を受け、授業見学を行いました。

次に、県立情報交流センターBig・U(田辺市)にて西牟婁・東牟婁地方の市町村の教育長や各中学校長を交えて、少子化やいじめの問題、地域との連携の実情について説明を受け、意見交換を行いました。

最後に、令和元年7月19日に国の登録有形文化財(建造物)に登録された南方熊楠記念館(白浜町)を訪問し、登録の経緯とその後文化財としての活用について説明を受け、意見交換を行いました。また、館内を視察し、南方熊楠の歴史や業績について説明を受けました。

文教委員会では、今後とも学校教育や生涯学習の推進、文化遺産の保存等、教育全般の充実に向け取り組んでいきます。



南方熊楠記念館正面入り口にて



和歌山県情報交流センター Big・U

12月定例会の概要

会期 12月3日から12月19日までの17日間

会期中の主な動き

●12月13日…人権・少子高齢化問題等対策特別委員会

一般質問議員 16人

12月10日(火)		12月11日(水)	
岩田 弘彦	岩井 弘次	玄素 彰人	鈴木 徳久
片桐 章浩	杉山 俊雄	中本 浩精	佐藤 武治
12月12日(木)		12月13日(金)	
川畑 哲哉	谷口 和樹	奥村 規子	山家 敏宏
藤山 将材	長坂 隆司	北山 慎一	吉井 和視

議案等の議決結果

項目	件数	概要	結果
予算案件(知事提出)	3件	令和元年度和歌山県一般会計補正予算 等	可決
条例案件(//)	17件	知事及び副知事の給与その他の給付条例の一部を改正する条例 等	
決算案件(//)	2件	平成30年度和歌山県歳入歳出決算の認定について 等	認定
その他案件(//)	11件	令和元年度建設事業施行に伴う市町村負担金について 等	可決
意見書	1件	スマート農業の実現による競争力強化の加速を求める意見書	可決

主な質問とこれに対する知事や関係当局の答弁は次のとおりです。(要約)



※「スペースワン社 提供」

紀南地域の医療人材確保

問 県立なぎ看護学校の学生の確保や就職はどういう状況か。また、紀南地域ではどのように看護職員を確保していくのか。

答 なぎ看護学校では、地元高校への訪問・説明により、入学定員を確保しています。しかし、卒業生の県内への就職は最近5カ年で6割程度、紀南地域に限ると3割程度となっています。就職説明会の開催や、修学資金貸与制度での返還免除の要件緩和等により、今後も、地域医療の担い手となる看護職員の確保に努めていきます。

ロケット射場の立地と宇宙教育

問 串本町へのロケット射場立地を今後の宇宙教育にどう生かしていくのか。

答 串本町が日本で最初の民間ロケット射場として選ばれ、発射の様子を子供たちが直接見ることができるようになります。その迫力や高度な技術に大いに刺激され、好奇心や探究心、地元に対する誇りが生まれるなど、学習の幅も広がると期待しています。地元教育委員会や関係機関と連携し、宇宙をはじめとする科学への興味・関心、地域貢献への意欲や国際的な感覚を培うなど、多方面にわたる学習意欲の喚起につなげていきたいと考えています。

令和2年度の新政策

問 令和2年度当初予算編成に向けて、新政策の基本的な考え方についてはどうか。

答 本県の人口減少は依然として深刻で、様々な課題や未解決のものも沢山あります。加えて、労働力不足や少子化など、対策を急がなければならぬ問題が重大な局面を迎えています。そこで、令和2年度の新政策については、子供を安心して育てる環境を充実する、労働力を確保する、新産業の創出や先端技術の導入を加速化する、県民のいのちと快適な暮らしを守る、地域の魅力を高めるといふ5つの視点を重点事項として取り組んでいきたいと考えており、議員や市町村の意見も踏まえ、来年度予算案を作成して2月定例会に提案します。

道路の維持修繕

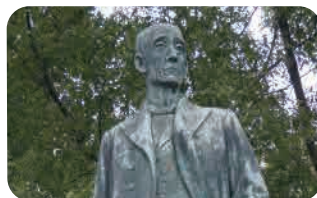
問 道路の維持修繕を交通安全対策や防災対策ともとらえ、予算を増やすべきと考えるがどうか。

答 道路の維持修繕の必要性は十分認識しており、近年は予算を増額するとともに、維持管理の重点化に取り組んでいるところです。今年度は、全国的に痛ましい交通事故が発生している状況を踏まえ、県内全域で区画線の状況を調査し、重点的に修繕を行うなど、通行の安全確保に努めています。

令和2年濱口梧陵生誕200年

問 濱口梧陵生誕200年の記念事業の実施は、広く功績の周知を図る絶好のチャンスと考えるがどうか。

答 「津波防災の日」や「世界津波の日」は、濱口梧陵の偉業が原点であることから、改めて津波防災の重要性を世界に発信するとともに、初代県議会議長、初代郵政大臣(当時は駅通頭)であったことや、伝染病の予防治療にも大変な努力をされた功績があったことについて、世界に発信したいと思っております。



濱口梧陵像

ひきこもり者への就労支援

問 県内のひきこもり状態にある方への就労支援の現状と、今後の対策はどうか。

答 那賀振興局を除く6振興局と串本支所に就労支援員を配置し、求人情報の提供などを行っています。就労に向けた準備が必要な方には、社会福祉法人等で規則正しい生活や協調性を身につけてもらうなど、就労に必要な基礎能力形成のための支援を行っています。粘り強く切れ目のない支援が重要ですので、市町村や地域の事業者と緊密に連携してまいります。

キャッシュレス決済

問 博物館施設の入館料等にキャッシュレス決済を導入してはどうか。

答 県立博物館施設4館の入館料等については、入館者の利便性向上のため、キャッシュレス決済を導入していきたいと考えています。



教員不足問題

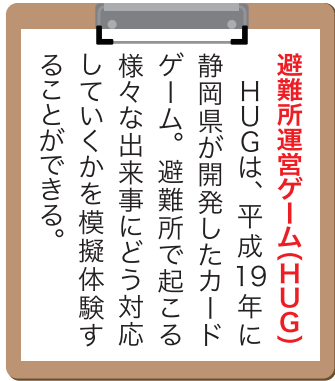
問 教員が足りず、産休や育休、病休の代替教員が見つからない、担任が決まらないなどの事態が全国で常態化している。その背景と対策はどうか。

答 講師登録者が以前と比べ減少したことや、子育て世代の教員の増加により補充教員の需要が増していることなどが考えられます。将来を見通した採用計画を立てるとともに、教員志望者の拡大に向けた広報活動や説明会の開催、退職教員等への呼びかけなど、あらゆる方法を用いて、教員の適正配置に取り組んでいきます。

避難所運営ゲーム(HUG)

問 県における避難所運営ゲームの活用状況はどうか。また、県オリジナル版を作成してはどうか。

答 県では、避難所運営ゲームは避難所運営を考えるための教材として有効と考えています。一方、このゲームは静岡県が考案したもので、地名や人名等は本県になじみが薄いものもあります。本県では、他府県にない独自の施策や災害対応で教訓としてきた運営方法も確立してきていることから、本県の実状に合い、誰もが気軽に参加できる本県オリジナルの開発を検討していきます。



田辺・西牟婁の県立高校募集定員

問 田辺・西牟婁地方の県立高校募集定員について、どう考えているのか。

答 県立高校の募集定員は、中学校卒業生徒数の推移、高校の入学状況などを踏まえるとともに、地域からの要望を斟酌しながら、総合的

な観点で慎重に検討を重ね、決定したものです。今後も、それぞれの高校の特徴や、普通科と専門学科のバランスも考慮し、慎重かつ総合的な判断のもと、募集定員を決定していきます。

紀の川の浸水対策

問 紀の川流域における浸水対策検討会では、いつごろまでに具体的な対応策が取りまとめられる予定か。

答 具体的な対応策を検討する前提となる浸水発生要因の分析は完了しているとの説明を国から受けていますが、浸水対策の取りまとめはまだされていません。県としては、一刻も早く取りまとめられるよう重ねて国に要請していきます。

幼児教育・保育の無償化

問 県内の幼児教育・保育の無償化に伴う便乗値上げの状況と、便乗値上げがあった場合の対応はどうか。

答 無償化が開始された令和元年10月時点で行った県内の認可外保育施設に対する調査では、保育料の便乗値上げが疑われる施設はありませんでした。今後も、保育料の変更があった場合には、設備の充実等の合理的な理由があるか否かなどを確認し、不適切な事例を把握したときには、市町による施設の指導が徹底されるようにしていきます。

小中学校の安全・防犯対策

問 県内小中学校における防犯カメラの設置状況と県教育委員会の考えはどうか。

答 小学校では234校中117校で、中学校では118校中48校で設置しています。学校の出入口への防犯カメラの設置は、学校への不審者の侵入や接近を防ぐなど、有効な防犯手段のひとつと考えており、各市町村に設置を働きかけていきます。

鉄道駅のバリアフリー化

問 バリアフリー化の取組状況はどうか。

答 県では、誰もが安心して鉄道事業者が行う駅のバリアフリー化事業について補助する市町に対し、支援を行っています。直近では、JR岩出駅、紀三井寺駅及び湯浅駅のバリアフリー化整備に対し、支援を行うこととしています。



和歌山県の防災対策

問 大規模停電が発生した際、県はどのような対策を考えているのか。

答 平成30年の台風第21号の経験を踏まえ、同様の事態が発生した場合、より速やかに対応できるよう、令和元年4月、関西電力(株)や西日本電信電話(株)とそれぞれ災害時の復旧作業の連携等に関する協定を、さらに、電動車両が避難所等で電源として活用できることから、同年11月に、大手自動車メーカー等と無償貸与の協定を締結しました。県としては、長期停電が発生した場合は、県民生活に多大な影響が生じることから、市町村や関係機関と連携し、早期復旧に向けた対策を進めていきます。

部落差別の解消における県条例

問 令和元年6月定例会で県条例の必要性について研究・検討するとの回答であったが、その後の状況と県条例の必要性についての認識はどうか。

答 部落差別に対する規制や全国的な課題であり、国が責任を持って対応すべきものと考えられます。その一方で、条例に基づき対応することも検討に値すると認識しており、議員の提案も踏まえ、他府県の条例の制定状況やその内容、差別事象への対応等を調査し、本県の差別事象への対応方法等との比較検討を行ってきました。引き続き、調査内容を精査し、部落差別解消のための効果的な方法について詳細に検討していきます。

平成30年度決算議案を認定

決算特別委員会では、平成30年度一般会計決算(歳入額:5480億余円、歳出額:5385億余円)のほか13特別会計の決算、及び県立こころの医療センター事業会計など3事業会計に係る公営企業決算について、令和元年11月5日から7日まで審査を行い、審査の結果、両議案とも認定すべきものと決しました。

12月18日の本会議において、尾崎太郎委員長から決算特別委員会における審査の経過・結果について報告を行い、採決の結果、決算議案が認定されました。



Topics 議会活動の紹介

関西広域連合議会11月臨時会

令和元年11月21日、関西広域連合議会11月臨時会がリーガロイヤルNCB(大阪市)で開催され、本県議会からは、井出益弘議員、浦口高典議員、奥村規子議員の3名が出席しました。

本会議においては、奥村議員が「地域医療を守るための医師の増員・確保」、「気候変動の危機的状況の打開のために」、「自治体戦略2040構想」、「カジノを含むR誘致」の4項目について質問しました。

特に、地域医療を守るための医師の増員・確保については、和歌山県内の公立病院において医師の退職により診療科が無くなる事態が発生していることを例に、関西圏域における医師不足の現状認識を問うとともに、「圏域内に住んでいる誰もが必要な医療を十分受けることができる医師体制づくりに向けて、関西広域連合として取り組むことが大切ではないか」とただしました。

本質問に対し、飯泉委員(徳島県知事)から、「すべての構成府県において、一定の医師偏在が存在し、医師不足が深刻な課題となっている」との現状認識とともに、「地域で必要な医師の絶対数の確保に向け、国に対し、医学部臨時定員増の継続をはじめとする地域医療体制の確保対策を講じるよう、しっかりと提言を行っていききたい」と答弁がありました。



奥村 規子 議員

近畿6府県議員交流フォーラム

令和元年11月18日、近畿6府県の議員が一堂に会し、地方議会や近畿圏の共通課題などについて意見交換を行う「第16回近畿6府県議員交流フォーラム」が和歌山県議会において開催されました。参加者は総勢38名、本県からは森礼子副議長、佐藤武治議員、鈴木徳久議員、長坂隆司議員、楠本文郎議員、中拓哉議員の6名が参加しました。

午前の全体会議終了後、各議員が3つの分科会に分かれ、新川達郎同志社大学大学院教授(地方自治分科会)、大浦由美和歌山大学観光学部教授(観光・文化分科会)、牧紀男京都大学防災研究所社会防災研究部門教授(防災分科会)のコーディネートののもと、各府県の状況を踏まえた活発な意見交換を行いました。

午後の全体会議においては、各コーディネーターから分科会の報告がなされ、最後に次回開催県である滋賀県の細江副議長が挨拶をして、フォーラムが終了しました。



本会議インターネット中継において手話通訳付き動画の配信をはじめます！

和歌山県議会では、本会議の動画(ライブ・録画)を県議会ホームページにおいて配信していますが、令和2年2月定例会からは、手話通訳の付いた動画になります。

また、手話付き動画の配信開始にあわせて、傍聴席にこの動画を見ることができるモニターを設置します。



本会議中継の動画(ライブ中継・録画中継)がスマートフォンで視聴できるようになりました。

和歌山県議会のホームページへアクセス
<http://kengikai-tv.pref.wakayama.lg.jp/>



議員の海外派遣に係る一般質問の議事録について

県議会のホームページでは、議員派遣による海外視察について、概要を掲載するとともに、視察に関する一般質問の議事録へのリンクを設けました。

和歌山県議会 海外視察報告・質問

Information 県議会からのお知らせ

テレビ・ラジオ放送

定例会の質問と答弁の様子や委員会の審議状況、議案の審議結果などをお知らせしています。

テレビ テレビ和歌山(WTV)

県議会だより(予定)

開会、質問、閉会日の22時30分から25分間放送(2月定例会の放送 2/20、3/3~6、9~11、17)

県議会手話だより(予定)

閉会日の約1週間後に、22時30分から30分間放送(2月定例会の放送 3/30)

ラジオ 和歌山放送(WBS)

県議会ダイジェスト(予定)

開会、質問、閉会日の21時30分から15~30分間放送(2月定例会の放送 2/20、3/3~6、9~11、17)

県議会では、虚礼を廃止した議員活動を行っていますので、ご理解・ご協力をお願いします。

県議会ホームページ

<https://www.pref.wakayama.lg.jp/prefg/200100/cms/www/>

和歌山県議会

- 県議会のしくみや主な動き、議員紹介、議会日程、質問項目、本会議録など様々な情報を掲載しています。
- 議会開会中は、質問など本会議場での模様を生中継しています。また、この中継録画やテレビ広報番組の録画をいつでも見ることができます。

「点字版・CD版」の案内

本紙の点字版、CD版(ボランティアの方による朗読)を作成しています。

プレゼント

応募方法

ハガキへ、①クイズの答え(〇〇〇)、②〒住所、③氏名、④年齢、⑤電話番号、⑥「わかやま県議会だより」のご感想を記入のうえ、**2月28日(金)〈消印有効〉**までにご応募ください。

傍聴してみませんか

- 本会議は、申込みなしで傍聴できます。
- 委員会の傍聴は、事前の申込みが必要です。

令和2年2月定例会 会期日程(予定)

本会議	2月20日(木)
本会議・常任委員会	2月25日(火)
本会議(質問)	3月3日(火)~6日(金)・9日(月)
予算特別委員会	3月10日(火)・11日(水)
常任委員会	3月12日(木)・13日(金)
本会議	3月16日(月)・17日(火)

※要約筆記をご希望の方は、事前に議会事務局までお申し込みください。ただし、申込日によっては、ご希望に添えない場合がありますので、あらかじめご了承ください。

〒640-8585(住所不要)

県議会事務局「クイズ&プレゼント係」

※当選者の発表は、発送をもってかえさせていただきます。
※皆様の個人情報は、和歌山県個人情報保護条例に基づき適切に取り扱います。